



【1】 一種研開催報告

2025年7月的一种研を7月23日(水)~25日(金)の3日間にわたって函館アリーナで開催しました。昨年の7月と同様、宇宙・航行エレクトロニクス研究会(SANE)、衛星通信研究会(SAT)と併催しました。各研究会の一般講演の他、AP/SANE/SAT研合同セッション、IEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演、AP研チュートリアル講演、SANE研の地下電磁計測ワークショップ、SAT研の特別招待講演などを含め、合計56件の講演がありました。講演件数が多いため、一般講演では、講演時間を20分に短縮し、2日目の一般講演は2つの会場で平行して行いました。3日間で100名を超える参加者があり、会場は満席に近い状態でした(写真1)。

IEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演では、ソフトバンクの太田様に「HAPSフィーダリンク無線通信システムの研究開発」と題して講演いただきました。HAPSの概要をわかりやすく説明いただき、HAPSフィーダリンクについての取組みとして、大容量化やビームトラッキングの技術を中心にお話をいただきました。(写真2)

AP研チュートリアル講演では、川崎医療福祉大学の茅野先生に「医療用テレメータの空間伝播特性に関するFDTD解析~病院・救急車・ドクターヘリを対象とした総合評価~」と題して講演いただきました。患者のバイタルサインを測定する医療用テレメータの電波の飛びすぎによる与干渉問題の把握のために、病院内での他の階への伝搬や、ドクターヘリ・救急車の外に漏洩する電波についてFDTD解析した結果を軽妙な語り口でお話いただきました(写真3)。

【2】 プログラム編成委員会報告

2025年電子情報通信学会ソサイエティ大会が9月8日(月)~12日(金)に岡山大学の津島キャンパスにて開催されます。それに先立ち、7月9日にプログラム編成会議を行いました。A・P研関係の投稿件数は合計120件で、昨年度の143件と比べると23件減少していますが、たくさんの投稿をいただきありがとうございました。プログラム編成の結果、B-1A:4セッション(21件)、B-1B:10セッション(60件)、B-1C:4セッション(23件)、BS-1「平面アンテナの最新技術:材料から設計、加工、実装、測定技術の最前線」:3セッション(11件)、BCS-1「量子・疑似量子アルゴリズムを用いた電波伝搬・電磁波制御デバイスの最適設計および量子コンピューティングのマイクロ波回路技術」:1セッション(5件)となりました(昨年と比べるとB-1Cが3セッション減っています)。

プログラム編成委員の方々のご尽力に感謝申し上げます。すべての講演は対面形式で行われますので、皆様、積極的に参加いただき、活発な議論を期待しておりますのでよろしくお願いいたします。



写真1 会場
(函館アリーナ 多目的会議室 B)



写真2 Tokyo Chapter 特別講演
(左から、今井委員長、太田様、
Tokyo Chapter 高橋委員長)



写真3 AP研チュートリアル講演
(左から、今井委員長、茅野先生)

【3】9月のAP研でのイベント案内

9月16日(火)～19日(金)の4日間、東京農工大学 小金井キャンパスにて9月の一種研が開催されます。マイクロ波研究会(MW)との併催の他、下記のイベントが行われますので、皆様の積極的なご参加をお願いします。

◆IEEE AP-S Member and Geographic Activity (MGA) Lecture Event in Japan

9月16日(火)にIEEE AP-Sの日本の4チャプターの共催で、Member and Geographic Activity (MGA) レクチャーイベントを開催します。Recent Trends and Challenges in Antennas and Propagation Technologies by IEEE AP-S Representatives と題して、アンテナ・伝搬の最新の研究内容に関する講演があります。海外からは、AP-Sのプレジデントである Prof. Christophe Fumeaux をはじめ5名の方を招待し講演いただきます。日本からは、戸村先生、今野先生、廣瀬先生、村田先生の4名に講演いただきます。

◆学生-企業交流イベント案内

9月18日(木)に学生と企業との交流イベントを開催します。学生は研究内容の発表を、企業および研究機関は事業や研究・開発の取組みの紹介をポスター形式で交互に行います。学生にとっては企業の情報が得られ、また企業にとっては学生と個別に接することができるので、リクルート活動としてもご活用いただける良い機会です。学生の申込はすでに締め切っていますが(57名参加)、企業の申込はまだ受け付けています。たくさんの企業・研究機関の方の参加をお待ちしています。詳細はA・P研ホームページをご覧ください(https://www.ieice.org/cs/ap/event/student_industria/)。

【4】副委員長の戯言

◆函館の市電

今回のAP研の会場となった函館アリーナには3日間、函館駅近くの宿泊地から市電(路面電車)で通いました(写真4)。路面はひび割れなどがあってあまりよい状態とは言えず、走行中は揺れが大きかったので少しだけ心配になりました。車両は新旧入り混じって様々なデザインのもの走っているのが印象的でした。学会の会場で路面電車に乗る機会は今までにいくつかあって、富山や広島が思い出されます。私の住んでいる栃木県では、紆余曲折の末、2023年に宇都宮ライトレールが開業しました。新型のLRT車両は、黄色と黒のカラーリングで流線形のデザインが特徴的です。もし、宇都宮市でAP研が行われることがあれば、皆様も乗る機会があるかもしれません。



写真4 函館アリーナと市電

◆30周年

私事ですが、先月6月1日(電波の日)の会社の創立記念日に勤続30周年の表彰を受けました。今まで大きな異動もなく、アンテナ・伝搬の研究開発の仕事に携わってきました。そして、信学会についても正員として30年継続しています。マイページで年会費の支払い状況を確認したところ、今年の年会費が390円割引されているのに気づきました。今年から新しい年会費割引制度が開始されたようで、長期継続会員割引では、20年、30年、40年以上継続して会員となっている人には、それぞれ2%、3%、4%の割引が適用されるそうです。他にも様々な割引制度がありますので、これを機会に割引制度を確認してみたいかがでしょうか(https://www.ieice.org/jpn_r/member/individual_member/dues.html)。

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 大島 一郎 (電気興業)

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org (A・P研執行部のメールアドレス)

AP-NET : A・P研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はA・P研HPにて

A・P研HP : <https://www.ieice.org/cs/ap/>

